

臨床研究に関する情報公開

当院では、下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、試料・情報を研究目的に利用される事を希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。情報の利用停止を請求されたとしても治療に影響が出ることはありませんので安心してお申し出下さい。

2023年11月8日

①対象者	自傷・自殺未遂により当院を受診された全ての方		
②研究課題名	救急医療機関における自傷・自殺未遂レジストリの運用およびデータ利活用		
③研究目的	医療におけるレジストリとは「特定の疾患などに関する情報の収集を目的として構築されたデータベース」のことで、「自傷・自殺未遂レジストリ」では、自傷・自殺未遂により救急医療機関に搬送された方の情報を収集します。自傷・自殺未遂は自殺に至る重要なリスクであり、その実態を把握することは世界保健機構（WHO）からも求められています。本研究は、我が国で初めて自傷・自殺未遂に関するレジストリを構築するものですが、自傷・自殺未遂者の方々のデータを収集することにより、それらの方々の実態や医療機関における診療状況などを調査し、その後の対策に活用することで、再度の自傷・自殺行為の防止や、自傷・自殺未遂者の方々に対する適切な対応などを検討することを目的とするものであり、それにより医療の質的向上と有効な自殺対策の確立を目指します。		
④実施予定期間	倫理委員会承認後～2025年3月31日		
⑤研究代表機関	日本臨床救急医学会 いのち支える自殺対策推進センター		
⑥研究代表者	氏名	三宅 康史	所属 帝京大学医学部救急医学講座
⑦使用する試料・情報	医療情報（受診日時、行為の日時・手段・場所・行為時の状況、受診時の身体的・精神的状況、入院の有無、治療後の状況等）、自傷・自殺未遂歴を含むこれまでの状況に関する、家族や生活の状況（個人情報を除きます）		
⑧共同研究機関	JA-RSA 公式サイト参照 https://ja-rsa.net	責任者	小林 道生
⑨ ⑦の習得方法	診療で得られた医療情報		
⑩試料・情報の利用目的	③参照		
⑪試料・情報の利用方法	⑦の情報を、診療記録から抽出し、個人を特定できないよう匿名化を行った上でコンピューター上のシステムに記録します。記録されたデータは安全な通信経路を介してレジストリに蓄積されます。レジストリは、日本臨床救急医学会と厚生労働大臣指定法人・一般社団法人いのち支える自殺対策推進センターが共同で管理・運営し、レジストリに蓄積されたデータは、本研究に参加する医療機関等（共同研究機関）が研究に利用します。		

⑫倫理審査	いのち支える自殺対策推進センター研究倫理委員会 審査承認		2023年9月27日	
⑬公表	学会発表及び論文発表の予定です			
⑭個人情報の取り扱いについて	氏名、生年月日等については匿名化し、個人が特定され得る情報は登録しません。登録する医療機関では、対照表を用いて登録情報を管理しますが（この対照表は研究が終了した場合には廃棄します）、第三者に個人情報が知られることは一切ありません。対象となる方で、自分の情報が本研究に使用されることを拒まれる方や、一旦登録された情報の抹消を希望される方、本研究についてより詳しい内容をお知りになりたい方は、下記の問い合わせ先までご連絡くださるようお願いいたします。			
⑮知的財産権	研究者に帰属します			
⑯利益相反	利益相反はありません			
⑰当院の研究責任者	小林 道生		所属	救急科
⑱問い合わせ	担当者	小林 道生	住所	石巻市蛇田西道下 71 番地
			電話	0225-21-7220
			メール	本ページ下「お問い合わせ」をご利用ください
	* お問い合わせ対応期間：～2025年3月末			
試料・情報の管理責任者 石巻赤十字病院長 石橋 悟				

本研究のノウハウやアイデアに関する情報については公開できませんのでご了承下さい。